



# 体協だより

## レッツスポーツひたちなか

ひたちなか市体育協会

URL <http://www.hitachinaka-taikyo.jp/>

発行・編集 ひたちなか市体育協会 広報紙編集委員会 〒311-1292 ひたちなか市和田町 2 丁目 1 2 番 1 号

ひたちなか市教育委員会事務局 生涯学習課内 電話 029-273-0111 内線 343, 029-219-7373 直通

### 子どもたちに夢と希望、そして感動を！

ひたちなか市教育委員会 教育長 木下 正善



ひたちなか市体育協会の皆様方のご努力によりまして、

スポーツによる健康で明るいまちづくり、青少年の健全育成が推進されておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

教育の現場におきましては、「生きる力」や「たくましさ」が失われつつあることが指摘されており、生きる力の源となる心と身体、両面のたくましさをどのようにして育んでいくかが大きな課題となっております。

子どもたちをたくましく育てていくための方策の一つとして、スポーツに親しむ環境を整えることは、大きな意義がございます。学校教育におきましては、体育の授業や健康安全教育、運動系の部活動を充実させることにより、たくましい心と身体を養うことに力を入れておりますが、地域の指導者によるスポーツ少年団活動や、広がりをもたせております市民スポーツ活動との連携を図ることによって、さらに強

くたくましい心と身体が育まれるものと期待を寄せているところでございます。

スポーツとともにある生活や家族揃ってスポーツを楽しむ環境、地域を挙げてスポーツに親しむ環境が、市民の健やかな心と身体をつくり、明日への暮らしを明るく前向きにすることは、多くの識者が指摘しております。お互いに切磋琢磨し、競い合う中に感動の場面があれば、さらにスポーツへの興味・関心・意欲が高まることとなります。学校や地域において、さまざまなスポーツに親しむ環境がさらに充実し、発展することにより、技能の向上とともに、礼儀正しさや協調性、忍耐力を備えた、たくましい青少年が育つてくることを心から願っております。

昨年 8 月に開催されましたロンドンオリンピックでは、日立リヴァールに所属する江畑幸子選手が銅メダルを獲得し、子どもたちそして市民に「夢と希望」を与えてくれました。目標とすべき憧れの選手が身近に存在することで、スポーツへの興味・関心がより一層高まり、スポーツに取り組み姿勢にもよい刺激を与えてくれたように

目次	
子供たちに夢と希望、そして感動	1 頁
第 1 回ヘルスバレーボール大会	2 頁
社会人リーグ報告	3 頁
オリンピックデラン・三浜駅伝	4 頁
スポッツライト	5 頁
専門部だより	6 頁
第 61 回勝田全国マラソン大会	7 頁
スポーツドクターアドバイス	7 頁
平成 24 年度体協振興大会報告	8 頁

思います。本当にうれしいニュースでした。

今後とも、ひたちなか市体育協会の皆様方、地域のスポーツを愛される方々、学校関係者が手を取り合い協働することにより「夢と希望」、そして「感動」が生まれる豊かな生涯スポーツ環境を整えてまいりたいと考えております。



寒さの中で、強く、たくましく!!

# 第 1 回 2012 ひたちなか市 ヘルスバレーボール大会報告

平成 24 年 12 月 9 日、ひたちなか市総合運動公園総合体育館において、第 1 回「2012 ひたちなか市ヘルスバレーボール大会」が、地域のコミュニティ組織から各 3 チーム、計 27 チームの参加のもと、盛大に開催されました。

「ヘルスボール」とは、楕円形で長径が約 90cm、短径が約 50cm、空気で膨らませたビニールボールを布で覆っています。このボールが予測不能な動きをし、本来のバレーボールとは一味違った面白さを体験できます。バドミントンコートを使用し、ボールを相手コートに落とすと 1 点が入り、相手コートに返すまでに



勝負よりは健康とわかっていても…

ボールを 2 回から 5 回打てる点（直接返球は違反）がバレーボールと異なります。

世代を超えて、手軽に楽しむことができるスポーツ「ヘルスバレーボール」は、平成 5 年に千葉県流山市生涯学習課によって、主婦の運動不足解消を目的に考案され、第 65 回「ゆめ半島千葉国体」でのデモンストラレーション競技に採用されました。

ひたちなか市体育協会においては、生涯にわたって、いつでも、だれでも、手軽に楽しむことができるニュースポーツとして、市民が広く健康づくりに親しめるように、一昨年度より、ひたちなか市スポーツ推進委員会と連携しながら本競技の普及に取り組んできました。

また、地域の体育部会を中心に、大会が開催されたり、発祥地流山市の大会にも参加したりするなど今大会に向けて、市全体で盛り上がりを見せておりました。

本大会では、まず第 1 ステージとして、出場 27 チームを 9 ブロックに分け、各ブロック毎に 3 チームの 6 分間 1 セットの総当たり戦を行いました。次に第 2 ステージとして、各ブロックの 1 位、3 位チームを 1 位リーグから 3 位リーグに再編し

（それぞれ 9 チームを 3 ブロックへ再編）、そこで、再び 3 チームの総当たり戦を行いました。最後に、第 2 ステージの 1 位リーグのみで 1 位になった 3 チームで 1、3 位決定戦、2 位になった 3 チームで 4、6 位決定戦、3 位になった 3 チームで 7、9 位決定戦を行いました。

日本ヘルスバレーボール連盟木村敏彦会長も 1 位リーグの試合の主審を務められ、大会に花を添えていただきました。

また、坂東市体育協会から 7 名の方が視察に来られ、初めてヘルスバレーボールを体験されました。

体育館いっぱいには歓声が響き、熱戦が展開され、初代チャンピオンにフリーダム（前渡地区）が輝きました。参加した選手からは、「思うようにはいきませんでした、みんな楽しんでプレーできました」と



第 1 位 フリーダム（前渡地区）

感想をいただきました。  
この大会を契機に、ヘルスバレーボールが市民のスポーツとしてさらに普及されるよう期待するものです。  
（広報委員 助川記）



第 3 位 平磯レディース（平中地区）



第 2 位 阿中サーフィン（阿中地区）

## 特集 社会人リーグ観戦記

第 14 回 W リーグひたちなか大会とバドミントン大会を観戦して

### 女子バスケットボール 第 14 回 W リーグ ひたちなか大会

9 月 29 日（土）、今年も社会人女子バスケットボールリーグである W リーグがひたちなか市総合運動公園体育館にやってきました。

今年が目玉は、第一に、これまで W リーグ（8 チーム）と W1 リーグ（5 チーム）の二部制だったものを統一して W リーグ（12 チーム）の総当たり制にしたことと、第二に、日立ハイテククーガーズの第 1 回戦を地元で開催するように組んだことであり、会場は日立ファンでほぼ満員でした。対戦相手は、昨年度に共に W1 リーグで競ったトヨタ紡織サンシャインラビッツでした。

本戦に先立ち、午前中は恒例の地元高校女子バスケットボールチームのクリニック（技術指導会）が行われ、今年は今クォーターズ OG が佐和高校と那珂湊高校の女子部員の指導に当たりました。部員達は、普段体験できないハイレベルな指導に感激した様子でした。

さて、本戦の方は 14 時に開始され、第 1 クォーターは日立 20 対トヨタ 22 とお互いジャブの応酬であり、第 2 クォーターも日

立 36 対トヨタ 35 とシーソーゲームの展開でした。しかし、第 3 クォーターに入り、トヨタの猛攻に日立はジリジリと後退し、日立 49 対トヨタ 62 と大きく突き放され、第 4 クォーターも日立 66 対トヨタ 79 とこの差を挽回できずに終わってしまいました。

今年のクーガーズは池内、天野という長身の新人を加え、キャプテンの小笠原を中心にまとめたチームという印象でしたが、残念ながら、地元の初戦をものごできませんでした。会場を埋め尽くした日立ファンのためにも、是非ともレギュラーシーズンを 8 位以内で収め、プレーオフに進出できるように今後の奮起に期待します。

（広報委員 古川・蝦名記）



日立・野田選手の勇姿

### バドミントン日本リーグ ひたちなか大会

バドミントン日本リーグひたちなか大会が、12 月 23 日に総合体育館において、4 年ぶりに開催されました。本リーグは、男子、女子ともにダブルス 2 試合、シングルス 1 試合の団体戦で、しかもロンドンオリンピック女子ダブルス銀メダルを獲得した垣岩令佳選手を含め全日本クラスが所属するルネサスの試合が観戦できるとあって、館内は熱気の渦でした。

試合に先だって行われた開始式では、茨城県バドミントン協会手塚克彦会長の歓迎のあいさつとあとも、各チームキャプテン、オリンピック出場の末綱聡子選手、前田美順選手、垣岩令佳選手に花束贈呈がありました。

男子の試合は、日立情報通信エンジニアリング（横浜市）VS 東北マークス（仙台市）の対戦が組まれました。試合中は男子のスピードのある攻撃や素晴らしいレシーブに観客席から 1 点ごとに歓声が聞こえていました。東北マークスからシングルスに出場した本県出身の青山真選手は、善戦はしましたが、2 対 0 で敗れました。

また、女子の試合は、ルネサス（熊本市）VS 七十七銀行（仙台市）

との対戦となり、現在、リーグ戦 5 戦 5 勝で首位を走る総合力で優るルネサスが、3 対 0 で勝利しました。第 1 試合、北京オリンピック女子ダブルス第 4 位の末綱・前田ペアが、ストレートで貫録勝ちしました。第 3 試合では、フレッシュユナ垣岩・福島ペアがファイナルに持ち込み、2 対 1 で勝ちました。世界トップレベルの試合とあって、各選手の豪快なスマッシュや巧みなラケットさばきが観客を魅了しました。なお、藤井瑞希選手は右ひざの損傷のため、今リーグ戦は欠場となりました。

2019 年第 74 回国民体育大会が本県開催となり、身近で国内最高峰のリーグ戦を見る機会を得て、県内バドミントン界の競技力向上と愛好者増につながったに違いありません。

（広報委員 助川記）



あの末綱・前田ペアの圧巻なプレー

スポーツの秋を満喫  
2012 オリンピックデーラン

抜けるような青空の下、今年も  
オリンピックデーランひたちなか大  
会が開催されました。これで、ひた  
ちなか大会は9年連続の開催とな  
りました。

開会式では、オリンピックふれあ  
いアンバサダーの荻原健司さん（ス  
キー複合）がトーチを持ち、オリ  
ンピックの宮下純一さん（競泳）、米  
田功さん（体操）、野村智宏さん（陸  
上）、上田藍さん（トライアスロン）、  
川崎努さん（スケート）がJOC旗  
を持って入場し、荻原さんが「オリ  
ンピックの火」に点火して会場から  
盛大な拍手を浴びました。

今年のプログラムは、3 km、5 km  
のジョギングで始まり、ウォーキン  
グや新体操教室、バドミントン教  
室などが行われた他、オリンピック  
によるトークショーやサイン会も実  
施されました。



楽しくジョギング

ジョギングでは、今年もスタート・  
ゴールを総合体育館前に変更して  
行われ、晴天の中、オリンピックと  
のふれあいを楽しみながら参加者  
は元気よくスタートし、三世代交  
流のようなほのぼのとした雰囲気  
でゴールしました。



優雅に新体操

また、体育館で行われた新体操教  
室では、NHK体操の横川道乃さん  
を講師に、リボン演技を華麗に見  
せる技などの指導を受けました。



迷ショットでGO

バドミントン教室では、木村和夫  
さんを講師に基本的な技術指導が  
行われました。初めて体験した子  
どもたちでも十分楽しめる内容に  
歓喜の声が聞かれました。

(広報委員 齋藤記)

第67回 三浜駅伝競走大会

平成24年12月2日、第67回三浜  
（さんびん）駅伝競走大会が、「若人  
の意気を高揚させ、体力の増強を  
図ると共に、強固な団結と友愛の  
もと、明朗真摯なスポーツ精神を  
養う。」という趣旨のもと、164  
チームにて開催されました。

この大会は、中学男子の部（7区  
間20・0 km）、高校男子・一般の部  
（6区間33・9 km）、中学女子の部（5  
区間13・4 km）、高校女子・一般女  
子の部（5区間20・0 km）の各部門で  
競われ、走路は那珂湊漁村センター  
（出発点）～磯崎～阿字ヶ浦～平磯～  
大洗～大洗文化センター～那珂湊  
漁村センター（決勝点）と平磯・阿  
字ヶ浦・大洗と三浜の海岸線を駆  
け抜ける風光明媚な走路となりま  
す。

今大会より、東日本大震災の影  
響で変更されていた走路も震災前  
の走路に戻りました。

大会結果は以下の通りです。

【総合優勝】

我流A C ー A

【一般男子1部】

優勝 我流A C ー A

準優勝 美野里クラブ

3位 那須塩原市陸上競技協会

【一般男子2部】

優勝 R K U

準優勝 日立水戸

3位 施設教導隊

【高校男子】

優勝 緑岡高

準優勝 太田一高A

3位 水戸工高A

【中学男子】

優勝 笠間中A

準優勝 竹園東中A

3位 瑞竜中

【一般女子】

優勝 茨城大常磐なでしこ混成A

準優勝 美野里クラブ

3位 水戸石川走友会

【中学女子】

優勝 常澄中

準優勝 佐野中陸上部A

3位 峰山中

(広報委員 黒澤記)



中学女子のスタート

# スポットライト

☆いろいろな場面で スポーツを楽しんでいる方々に スポットライトをあててみました☆

## 徳武さんの 『公立幼稚園訪問サッカー教室』

わーい、わーい。サッカーボールを蹴る園児たちの歓声に包まれ、園庭は冬の寒さを吹き飛ばす熱気にあふれていました。

ここは那珂湊第一幼稚園。12月5日(水)の午前中、徳武さんの「公立幼稚園訪問サッカー教室」取材にお邪魔しました。

徳武さんの指揮の下、朴コーチ、仲野コーチのかけ声で、19名の年少組30分、それから19名の年長組60分のサッカー教室が開始されました。どちらも始めはいろいろと工夫されたランニングゲームで体をほぐし、それからボールを使ってドリブル練習などに移行しました。年長組の最後は、橙色チーム、緑色チーム、黄色チームにわかれてのミニサッカーゲームでした。ボールを上手く操れる子、ぎこちない子など様々でしたが、全園児が大満足のひとときでした。

徳武勉さんは、長年、当市サッカー協会の副会長を歴任し、80歳を過ぎた現在は顧問に退きながらもサッカーへの情熱は冷めず、サッカーの普及に尽力されている方です。2001年から市内10箇所の公立幼稚園に年1回訪れて、サッカー教室を開催してきました。今年で12年目を数

え、今回は丁度120回目のサッカー教室でした。

このサッカー教室の達成目標は、①挨拶ができる子供づくり、②話し手の顔を見ながら話が聞ける子供づくり、③サッカーを通して、よい友だち・仲間ができる子供づくり、④我慢強く、楽しく遊びながらも継続できる子供づくり、⑤スポーツが心身の健康に役立つことを体感できる子供づくりだそうので、これらが体験できる場を幼稚園児に提供したく、このサッカー教室を始められたとのこと。

なお、この教室を支えるコーチ陣として、鹿島アントラーズ、水戸ホーリーホック、水戸マルバクラブ、当市イーグルサッカーパークの選手の方々が協力しています。

(広報委員 蝦名記)



サッカー教室後のおすましの園児たち

## 突撃『茨城高専・卓球部』

茨城高専といえば、理工系の学校であり、当市唯一の国立の高等教育機関です。課外活動も盛んな学校で、それは人間性・社会性にあふれた工業技術者を養成するための必須なものだそう。

そんな茨城高専の課外活動の中で、このところ躍進著しい運動部が卓球部です。そこで、今回は茨城高専・卓球部にスポットライトを当ててみることにしました。

高専の運動部は3種の大会に出場することができます。1つは1〜3年生が登録している高体連の大会で、これに勝って県外の関東大会などに出るためには、水戸地区予選、県大会を突破する必要があります。至難の業です。2つ目は高専独自の大会であり、茨城高専の場合は関東信越地区大会に勝ち進めば、次は全国大会です。すなわち、予選大会から県外大会であり、少し強ければ、毎年、全国巡りの旅ができるという訳です。3つ目は連盟などが主催する大会です。

さて、その卓球部について戦績を見ていくと、まず、高専の関東信越地区大会では、ここ6年間は敵なし。男子団体戦は元より、男・女シングルス、ダブルス5種目のほとんどを毎年制覇

しています。全国大会でも優勝経験はないものの、入賞の常連校になっています。また、高体連の大会でも男子が強く、水戸地区予選を推薦で通過して県大会で大いに活躍する場面が増えてきました。今年度秋の県卓球選手権大会ジュニアの部では、男子ダブルスで増田・白井組が優勝という快挙を達成しました。

茨城高専・卓球部が6年前から急に強くなったのには、当然、訳があります。それは、熱心な顧問がいただけでなく、当市卓球連盟の野々村さん、石丸さんを始め有志の方々との10年前からの熱心な支援があったからであり、これに高専OBも加わり、強力な選手育成体制が出来上がっているからだそうです。正に体協専門部と地元学校のコラボの成果であり、注目されます。

(広報委員 蝦名記)



H24年度高専関東信越大会・4種目制覇

# 専 門 部 だ よ り

**バレーボール協会の  
活動と各チームの活躍**

バレーボール協会  
会長 加藤 英智

当バレーボール協会では、各種大会の他に、いろいろなイベントも実施しています。

毎年行っている審判講習会も七回目になりますが、受講者のレベルも年々向上して来ており、継続する事が大切であり、今後も続けて行きたいと思っております。また、H24年度は、少年団を対象にバレーボール教室を開催いたしました。これは地元にあります実業団女子チーム「日立リヴァーレ」の協力を得て開催することができました。

「日立リヴァーレ」は皆さんご存知の通り、ロンドンオリンピックで活躍した江畑幸子選手が所属しているチームです。当日、江畑選手はいませんでしたが、監督・コーチ・選手の皆さんに教えていただき、有意義な教室を開催することができ、子供達も大変喜んでいました。「日立リヴァーレ」は地元に貢献し、地元に着しながら活動をしているチームです。是非、地元のチームを応援して行きましょう。

次に、各チームの活躍を紹介いたします。H24年度は、関東



H24年度少年団バレーボール教室

ママさんバレーボール大会（千葉県）に茨城県一位代表「さつきクラブ」と二位代表「柏野クラブ」が出場しました。両チーム共ブロンズ三位入賞という成績を収めました。また、全国ママさんいそじ大会（札幌市）に茨城県一位代表「you」が出場しましたが、惜しくも賞は逃しました。各チームの健闘を称えたいと思います。

一方、少子化の中、他の競技と同様に、バレーボールの競技人口も減ってきており、今後の課題として取り組んで行かなければなりません。

**人に優しい武道「合気道」**

合気道連盟  
会長 五十嵐 雅高

『合気道』：国内はもとより外国でも人気の高い武道です。その理由は老若男女ができる競わない武道として高い評価を受けているからです。お互いの習熟度に合わせて技を繰り返し稽古することで心身の錬成を図ります。自然の理法の中で呼吸や気を充実させ、無理のない柔らかな丸い体さばきは大きな可能性を秘めています。それ故、これらのことから合気道は心身鍛練や護身術に最適と言われています。

ひたちなか市における『合気道』活動は40年以上の歴史を誇っています。現在、松戸体育館や



一般女性会員による「呼吸投」の技

湊武道館の市内4箇所、100名の少年団や150名の一般部会員が心地良い汗を流しています。特に少年団では、入会后1年も過ぎると保護者の皆さんから「遅くなった。丈夫になった。柔軟になった。大きな声での挨拶や礼儀が良くなった。」等々の評価をいただいています。一般の部では、年代も様々で学生から高齢者までの幅広い階層が真剣に取り組んでいます。時代を反映してか会員の4割が女性と言うのも特徴ある武道です。

合気道連盟は家族的な雰囲気と開かれた武道団体をスローガンとして活動しておりますので、ぜひ一度見学にお越し下さい。



H24年11月の演武大会

新たな一歩を踏み出した  
勝田全国マラソン大会

第 61 回勝田全国マラソン大会が、1 月 27 日、冬晴れの絶好のマラソン日和の下に開催されました。過去最多となる全国 42 都道府県から 1 万 8 1 6 4 人のランナーが男女のマラソンと 10 km の部に健脚を競い、ひたちなか市の大地を風のように駆け抜けました。

当日は、JR 常磐線の臨時列車として特急「勝田全国マラソン」が上野駅から勝田駅まで運行され、多くのランナーが利用しました。

開会式では、コマツ茨城工場所属の大森隆則・夏目奈津子両選手が、「魅力あふれる街並みを、感謝の気持ちを胸に一生懸命走り切る」と力強く宣誓しました。



今回はショッキングブルーのおもてなし

また、前夜祭のトークショーにゲスト出演されたケニア出身で、オリンピック男子マラソン 2 大会連続メダリストのエリック・ワイナイナさんが、オープン参加でフルマラソンを走るといふ突然の発表があり、会場は大きな歓声に包まれました。号砲台から、多くのマラソンランナーと握手を交わしたり、沿道の皆さんに手を振ったりしながら、マイペースながら「勝田の風」となつて走りました。

表町通り商店街のスタート地点では、東石川小学校 5 年生の皆さんが「完走めざしてガンバレ」という横断幕を作成して、熱いエールを送っていました。

今回で 61 回目を数え、伝統と歴史のあるこの大会が、二千人を超える市民ボランティアに支えられ、地域に根ざしたおもてなしの心で大会を盛り上げていることに高い評価をいただいています。

そして、この市民ボランティアの中には当体育協会からも 5 6 8 名もの会員が各種補助員として活躍しました。特に今大会からは、更衣室や荷物預かり場の場所と運営方法を変更しましたので、担当者は混乱が起きぬように随分気を揉んだところですが、でも、参加者からは「とても心配りが利いた良い大会でした」という言葉をいただき、清々さが残りました。

(広報委員 助川記)



スポーツとサプリメント  
勝田病院 整形外科 浦川 圭二先生

スポーツとサプリメント

私はあまりサプリメントが好きではありません。でも、コマージュルにつられて、いろいろ買ってしまい、ついつい後悔しています。それ故、かなり私見や偏見が入ってしまうかも知れませんが、ご了承ください。

人間が健康的に生きていくためには、必要な栄養素を毎日十分に摂ることが大切です。栄養摂取の基本は、三度の食事です。基本の食事に足りない物の補助、追加、オマケがサプリメントの語源なのです。ヒアルロン酸やサメの軟骨を摂っても体内で消化してアミノ酸になるだけで、自分の膝の軟骨が直接サメの軟骨に変わるわけではないのですけど、欲しくなってしまうますよね。脂肪が燃焼するとか、疲労が回復するとか、そんな魔法みたいなものでなく、サプリメントも単なる栄養素で、それも高濃度です。そのために必要以上に摂取すると、太ったり、かえって身体を害することもあるのです、トップアスリートたちは、定期健診を受けてます。皆さんも気を付けましょう。

スポーツをする人達の代表的なサプリメントと言えば、プロテイン(タンパク質)です。例えば、スポーツ選手は、一般人の倍の体重 1 kg 当たり 2 g のタンパク質の摂取を必要としています。これだけのタンパク質を食事では、60 kg の体重として、鶏卵 20 個ぐらいが必要です。これでは、プロテインのサプリメントに頼った方がいいかも知れませんね。摂取する量は、それぞれの表示に従えばいいですが、プロテインの摂取のタイミングは、食後または運動後の 30 分以内、就寝前 1 時間ぐらいにしてください。というのは、成長ホルモンが分泌が活発になり、前回書きましたが、運動後の超回復によつてカラダづくりが効果的に行なわれる時間だからです。そして、筋肉をはじめとするカラダのさまざまな組織は寝ている間に、成長ホルモンが分泌されて修復したり、成長したりするので、睡眠時間の確保とともに、就寝前に摂取するのがいいタイミングのようです。ただし、運動をしないで、就寝前にサプリメントを含め栄養を摂取すると確実に太りますのでご注意ください!!

平成24年度体育協会振興大会報告

本年度のひたちなか市体育協会振興大会が平成25年1月20日(日)にホテルクリスタルパレスで開催されました。各団体から454名が出席し、会長挨拶、来賓挨拶に続いて、本年度の功労者(加盟団体長推薦個人37名、体育協会長推薦個人1名・団体2団体)が表彰されました。また、受賞者を代表してダンススポーツ連盟片岡幸江さんが謝辞を述べられました。その後、レセプションに移り、湊中学区地域を住みよくする会副会長駒城満さんの乾杯で始まり、みなと源太さんの弾き語りに魅せられ、最後は阿中学区明るく住みよい地域をつくる会会長小池勝利さんの万歳三唱で幕を閉じました。



本年度功労者の紹介風景

本年度の功労者は、次のとおりです。

- ◇加盟団体推薦
  - 野球連盟 館野 泰士
  - ソフトボール協会 小林 隆昭
  - サッカー協会 小田倉 博
  - 卓球連盟 関根 修子
  - ソフトテニス連盟 榑崎 博幸
  - 陸上競技協会 渡辺 俊一
  - 柔道連盟 安 直人
  - 弓道連盟 磯前 一己
  - 合気道連盟 深谷 和久
  - スキー連盟 鈴木 隆之
  - テニス連盟 大内ひとみ
  - バドミントン協会 大金 芳子
  - 綱引連盟 大内 實
  - ゴルフ連盟 木村桂一郎
  - ダンススポーツ連盟 片岡 幸江
  - 勝田なぎなたクラブ 仲長 幸子
  - インディアカ連盟 古川 政美
  - ゲートボール連盟 小笠原 基
  - レクリエーション協会 小高きえ子
  - 健康体操クラブ 島野カツエ
  - 太極拳連盟 五十嵐光子
  - グラウンド・ゴルフ協会 小和瀬 章
  - 一中地区体育部会 照沼 輝恭
  - 二中学区体育部会 兼岡 則幸
  - 前渡体育部会 澤畑 裕之
  - 佐野体育部会 児玉 光弘
  - 大島地区体育部会 田中 孝明
  - 田彦中学区体育部会 椎名 浩行

- 湊中学区体育部会 井上 静子
- 平中学区体育部会 立石 幸二
- 阿中学区体育部会 黒澤 一夫

- ◇スポーツ少年団種目別部会推薦
  - サッカー部会 今井 裕之
  - ソフトボール部会 岡 光浩
  - 合気道部会 田中 秀樹
  - 軟式野球部会 三上 芳郎
  - ミニバスケケットボール部会 川崎 和義

◇会長推薦(褒賞)

- (個人)
  - ひたちなか地区剣道連盟 比佐 愛

(団体)

- 佐野ソフトボールスポーツ少年団
- ひたちなか市選抜
- バスケットボールチーム (体協事務局記)



みなと源太さんと娘・詩織さんの熱唱

総合運動公園の修復状況

3・11により大きな被害を受けた総合運動公園各種施設でしたが、遅れていた修復工事も順調に進み、平成25年3月末までにはすべての施設が使用可能になります。

長い間、各専門部とも競技施設の不自由さに耐え忍びましたが、やっと従来通り活動ができるようになりました。

編集後記

大震災から2年が経ち、閉鎖されていた施設が修復・改修されました。また、体協主催のヘルスバレーボール大会が多くの皆様のご協力をいただき、盛大に開催することもできました。

今後とも、この体協だよりが地域の情報をお届けして、皆様の健康づくりとスポーツ活動のお役に立てればと願っております。(高場)

【体協だより編集委員】

- 委員長 高場 恵子
- 委員 蝦名不二夫
- 委員 黒澤 里志
- 委員 齋藤 純子
- 委員 清水 敏治
- 委員 助川 保彦
- 委員 古川 由治